

『美容院』（5月19日配信）

ども、戸田です。今日は、美容院ごっこについてお話しします。

私は、ろう学校の幼稚部に勤務しています。子どもたちは毎日、鬼ごっこやおままごとなどいろいろな遊びをします。そのなかで、美容院を模した遊びがあります。店員役とお客役になり、カットや髪の設定など美容院のまねごとをします。女の子たちが好きな遊びです。リボンをつけたり、ドライヤーをあてたり、髪をといたり、髪の長い先生の髪を結ったりと盛り上がります。

遊びを見て気が付いたことがあります。女性の先生がお客さんをして、店員を子どもたちがやります。入店後、待合スペースに案内され、そこでは雑誌などを読むと思いますよね。子ども店員が持ってきたのは段ボールで作ったタブレットでした。雑誌ではなくタブレットで雑誌を読んだりゲームをして待つようです。また、お菓子や飲み物も提供されるようでした。

私は床屋に行くため、タブレット、お菓子、飲み物などはありません。雑誌を読むか、自身のスマホで時間をつぶします。子どもたちは親と美容院に行くなど経験しており、タブレットで動画を見たりお菓子や飲み物をもっているんですね。床屋を利用している私からすると、これが今の美容院なんだと、子どもの遊びは自分の生活をそのまま反映しているの、大人からすると子どもたちが今経験していることはこうなのか、取り巻く環境などを知ることができて、勉強になります。